

ほけんだより

新型コロナウイルス対策（修学旅行Ver）



仙台西高

- ×換気の悪い密閉空間
- ×多くの人が密集
- ×近距離での会話や発声

- こまめに手洗い・手指消毒，換気
- ソーシャルディスタンス
- 咳エチケット

1. 感染防止対策

○ 出発前の健康観察の徹底

- ・出発の2週間前より，本人だけでなく同居家族も含めて体温や健康状態のチェックをして下さい。発熱がある場合や体調不良者は参加できません。
- ・発熱やかぜ症状がある場合は医療機関を受診し，参加の可否を確認して下さい。

○ 修学旅行事前健康調査で受診指示を受けた者

- ・ただちに病院を受診し，医師から対処方法を聞き，担任に報告して下さい。

○ 定期的な手洗いや消毒

- ・各自アルコール手指消毒液を携帯して下さい。
- ・バス乗車時，施設入館時，食事前などに手洗いや手指消毒を実施して下さい。

○ 定期的な検温・健康観察を実施

- ・朝・夕の検温と健康観察を行う。
(スケジュール表の「検温記録欄」に結果を記入する。)
- 各自体温計を持参して下さい。
- ・体調不良時には適宜休養をとり，発熱時は担任に申し出て下さい。



○ 食事，入浴，就寝の時間以外はマスクを着用

- ・熱中症などの健康被害が発生する可能性が高い場合は「換気」や「人と人との距離を確保」，「対話の抑制」をした上で，マスクを外す。

○ 手をふくタオルやハンカチなどの持参

- ・共用はしない。
- ・最低1日1枚の使用とし，適宜交換する。
- ・使用した物は密閉しておく。(ビニール袋を各自持参する。)

2. 輸送機関利用上の対策

- ・乗車時の手指消毒。
- ・乗車時のマスクの着用，会話の抑制。



3. 宿泊施設内での対策

○入浴に関して

- ・浴場での会話は慎む。
- ・着替えや使用済みマスクは密閉する。（密閉できる袋を各自持参すること。）

4. 食事施設利用時の対策

- ・食事は黙食。



5. その他

- ・持参するおやつは人に配らない。
- ・行動記録をしおりに基づききちんと記入しておく。
- ・修学旅行終了後も本人を含め同居家族の健康観察を行う。（目安として2週間。）
発熱した場合は医療機関を受診し学校にも報告する。
- ・旅行中はソーシャルディスタンスを意識し，大声を発しないように過ごす。
- ・旅行先で発熱・体調不良の場合は現地の病院を受診します。場合によっては，現地まで保護者に迎えにきてもらう場合もありますので，すぐに連絡できる連絡先を確認しておくこと。

【持参・準備物】

マスク・ハンカチ（1日1枚以上），ティッシュ，マスクケース，衣類の密閉袋，使用済みマスクやティッシュの処理袋（密閉）
携帯用アルコール手指消毒液，体温計
保険証のコピー



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種者が徐々に増えている現状ですが，先行き不透明な状況に変わりありません。思い出に残る修学旅行にするためにも，この保健便りを熟読し，皆さん一人一人が感染対策に取り組みつつ旅行に参加しましょう。